

北海道大学・北海道地区国立高等専門学校技術職員交流研修 実施報告

○佐藤陽亮^{A)}, 中川直也^{B)}, 武田希美^{C)}, 財原昇平^{D)}

^{A)}低温科学研究所, ^{B)}工学研究院, ^{C)}総合研究基盤連携センター, ^{D)}学術情報部情報企画課

1. はじめに

令和6年11月から令和7年1月にかけて令和6年度北海道大学・北海道地区国立高等専門学校技術職員交流研修が開催された。

この研修は、本学と北海道地区国立高等専門学校の技術職員を相互に派遣することにより、技術職員のスキルアップ及びマルチスキル獲得の機会を創出するとともに、技術職員が有するスキルや情報の共有を図り、両機関の連携を強化し、技術職員の交流を促進することを目的に、北大コアファシリティ構想研究支援人材育成プログラム・マルチスキル人材育成プロジェクト、SD実施専門部会との共同事業として行われた。この研修はSD実施専門部会スキルアップ検討チーム交流研修担当のメンバーが中心となって実施した。

2. 研修概要

今回は北海道大学、函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校が参加し、北大から各高専へ1名ずつ、各高専から北大へ1名ずつの計6名の技術職員が下記の日程で各受講先機関を訪問し、2～3日間の研修を行った。

- ・令和6年11月5日(火)～11月6日(水) 北大から苫小牧高専(土木系)
- ・令和6年11月21日(木)～11月22日(金) 苫小牧高専から北大(土木系)
- ・令和6年11月26日(火)～11月28日(木) 旭川高専から北大(機械系)
- ・令和6年12月4日(水)～12月5日(木) 北大から旭川高専(機械系)
- ・令和7年1月7日(火)～1月9日(木) 函館高専から北大(化学・分析系)
- ・令和7年1月16日(木)～1月17日(金) 北大から函館高専(機械系)

各機関で受講者を募集し、苫小牧高専と北大との間ではそれぞれ土木系の技術職員が、また旭川高専と北大からは機械系の技術職員が相互に訪問し研修を行い、函館高専からは化学・分析系の技術職員が北大を訪問、北大からはフィールド系の技術職員が機械系の研修を受けるため函館高専へ派遣された。

本学においては、苫小牧高専からの土木系研修は工学研究院、旭川高専からの機械系研修は低温科学研究所で実施した。また函館高専からの化学・分析系の研修は触媒科学研究所、理学部、電子科学研究所で実施された。

本研修は、事前に講師を担当する技術職員と受講者との間で打合せを行い、日程の他、受講者が特に学びたい分野などを話し合うことによって研修プログラムを決定し、さらに施設見学や業務発表会、情報交換会などもプログラムに含まれるなど充実した研修となった。

3. 今後

前年度の旭川高専と北大との交流研修から始まり、今回は函館、苫小牧、旭川高専の3機関が参加、今後もさらに道内の大学・高専などに輪を広げて技術交流の機会が作られていくことを期待している。